



高見小学校 学校だより

平成29年10月24日

全国学力・学習状況調査特集号

発行：校長 久富繁雄

「た」・たくましく、「か」・かしこく、「み」・みんなやさしく

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

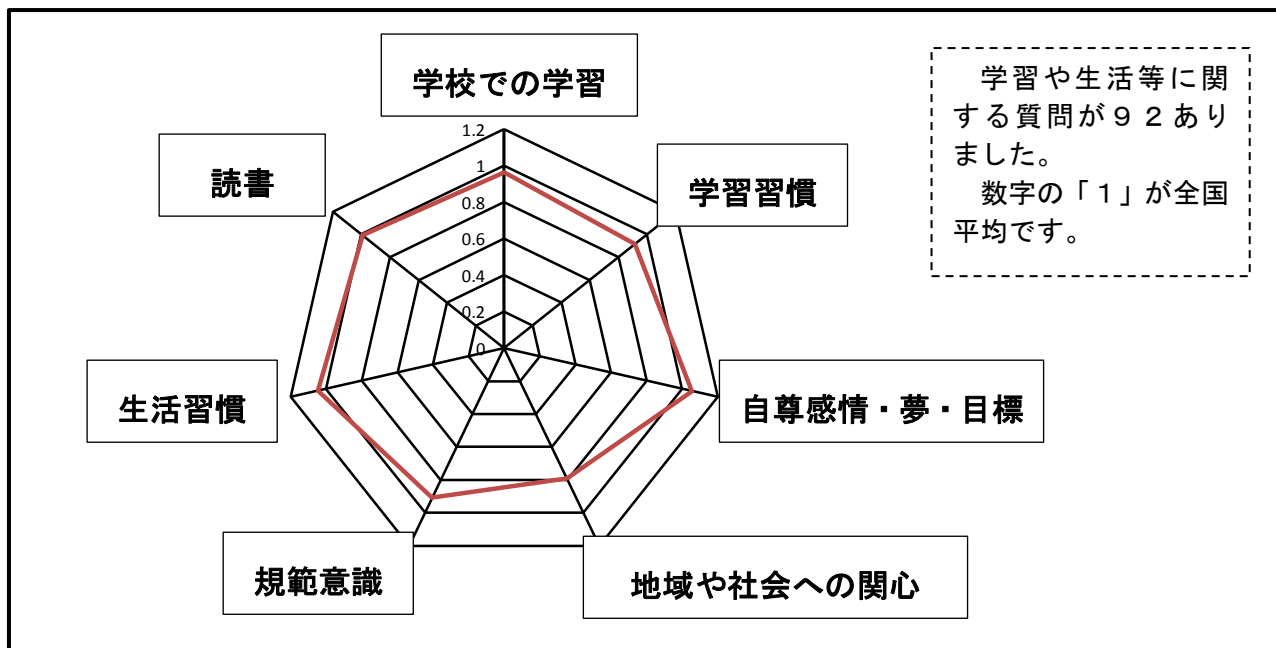
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1 本校の学力調査結果の分析

カテゴリー	全体的な傾向や特徴など	全国平均との比較
国語A (知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均を上回ることができた。全体的に全国平均よりも高い正答率が見られた。 ・ 漢字を書いたり、読んだりする問題の中に一部、正答率が低いものがあった。 	全国平均正答率を上回っている
国語B (活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均を上回ることができた。全体的に全国平均よりも高い正答率が見られた。 ・ 自分の考えを広げたり、深めたりするための発言の意図を捉える問題は、正答率が低かった。 	全国平均正答率を上回っている
算数A (知識)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均を上回ることができた。全体的に全国平均よりも高い正答率が見られた。 ・ 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を問う問題の正答率がやや低かった。 	全国平均正答率を上回っている
算数B (活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均を上回ることができた。全体的に全国平均よりも高い正答率が見られた。 ・ 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する問題の正答率が低かった。 	全国平均正答率を上回っている

2 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙の調査の項目としては、「生活習慣」「規範意識」「自尊感情・夢・目標」「学習習慣」「読書」「学校での学習」「地域や社会への関心」などについての項目がありました。上記のレーダーチャートがその結果です。「1」が全国平均です。

「学校での学習」に関する質問の「授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しい」という問いに対しては、難しいと思っている児童は依然として多い状況です。自分の考えを整理する上で、「書くこと」が大切になってきます。学校でもノート指導の充実を図るとともに、「書いたことを説明する」ことについても力を入れて指導していきます。

「生活習慣」に関する質問の「ゲームをする時間」は全国平均よりも少ないものの、「学習習慣」に関する質問の「平日、一時間以上家庭学習をしている」という問いに対しては、全国平均を下回りました。学校では、宿題の内容や量を各学年の実態に応じて、出すようにしています。また、宿題以外でも、中・高学年では、自主学習（自学ノート）の充実を図っているところです。ご家庭でも、お子様の自主学習を見てあげて、どのような学習に興味をもち、あるいは課題を感じているのか、親子で共有していただきたいと思います。

「地域や社会への関心」に関する質問の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という問いに対しては、全国平均を下回っていました。家族以外の大人と関わる経験は、社会的コミュニケーション能力や思考力を育て、視野を広げることに繋がります。地域の行事への参加についても、ご家庭で考えられてみてください。

3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

①教科に関する取組

- ・ 1時間の授業の中で必ず、学習ノートに自分の考えを書くようにし、「書いたことを友達に説明する」活動を通して、思考力の向上を図ります。
- ・ 算数科・理科において、少人数指導やチームティーチング指導の充実を図り、個別指導のより一層の充実を図ります。

②家庭生活習慣等に関する取組

(以下の2点についてご協力をお願いします。)

- ・ 家庭学習（学年×10分間←あくまで目安です）について、宿題以外の自主学習の定着を図るために、家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にしてお子様と一緒に取り組んでいきます。
- ・ 「高見中学校区で目指す児童・生徒の10のすがたと取組」に基づき、小中・家庭・地域で連携して、系統的な一貫した指導に当たることにより、学力向上を図ります。（本日、配布します）

